

「マイ・バッグ・キャンペーン」は、身近な生活の中でできるごみ減量化のための具体的な行動として、10月の3R推進月間に合わせ、環境に配慮した消費行動を全国的に促すものです。本町においても、「環境にやさしい買い物をはじめよう」をサブテーマに、消費者、事業者及び行政による県内統一行動として、「マイ・バッグ・キャンペーン」を実施しますので、町民の皆さまのご協力をお願いします。

※3Rとは、リデュース（減量）リユース（再利用）リサイクル（再生利用）のことを言います。

リデュースは、ごみとして廃棄されることが少なくなるように、ものを製造・加工・販売すること。リユースは、もう一度使えるものはごみとして廃棄しないで再利用すること。リサイクルは、廃棄されたものでも、再生資源として再生利用すること。

目標

①町民一人ひとりが、買い物ごみの発生につながるレジ袋の利用や過剰な包装等を削減するために行動する。

②環境に配慮した商品の普及を通して、リサイクルを推進する。

消費者

・買い物には、買い物袋やふろしきを持参し、レジ袋や過剰包装等を辞退する。

・エコマーク商品や再生品等、環境にやさしい商品を購入する。

事業者

・レジ袋や過剰包装等の提供をできるだけ控えるようにする。

・環境にやさしい商品の提供を図る。

行政

・協力要請等をする。
問い合わせ

住民生活課生活環境係

☎0287-92-2114



「ききます、とどけます、あなたの声を行政に」

秋の行政相談週間

10月15日～10月21日

さわやか行政サービス運動の一環として福祉まつりでの福祉相談会と合同で、特設行政相談会が開設されます。

あなたの身の回りの困ったこと、行政に対する苦情などを解決する手助けをいたします。どうぞお気軽にご相談ください。

特設行政相談会

日時 10月20日（土）

午前10時～正午

場所 小川総合福祉センター

内相談コーナー

なお、相談週間中、町の行政相談委員及び行政相談窓口でも相談をお受けしております。行政への苦情や意見・要望などお気軽にご相談ください。

行政相談委員

馬頭地区担当 平澤秀子氏

☎0287-96-2557

小川地区担当 守谷次男氏

☎0287-96-3169

那珂川町再発見 日本再発見

ケビン・ブラックバーン

第2話 「ホームグラウンド」

このコラムを書いている時期は9月の中旬ですが、まだ暑い日が続いています。先日、暑気払いのために職場の仲間と一緒に宴会を企画しました。当日の夕方、我々は歩いて出掛けました。僕の上司の「川沿いで行きましょう」との提案に、皆で観光ルートを通って宴会場まで行きました。

武茂川は僕の職場と自宅のすぐそばですが、地域のゴミ拾いを除き川岸はほとんど通りません。しかし、その日川の美しさが目に留りました。

この「那珂川町再発見」のコラムを計画したとき、町の隅々まで出歩くことを想像しましたが、やはり僕の考え方は未熟でした。那珂川町を再発見するためには、まずは自分のホームグラウンドから始めるべきだと改めて思いました。

17年前に来町したばかりの目線



で身近なものを見ようと思えば、意外に色々な発見がありました。

僕の勤務先である山村開発センターの前に最初の発見がありました。僕はいつも「上を向いて歩こう」としていますが、視線を様々な方向に向けてみると、歩道からの左下に、ピンク色の生地が目に入りました。よく見てみると、かなり褪せた赤いマントを被ったお地蔵様がありました。道路沿いのゲートを開け、階段を降りてみたとき、これはお墓かと思いました。しかし、これはお墓ではなく、「内神」と近所のお友だちに教わりました。

何百回とこの前を通っていたにもかかわらず、今日までこのお地蔵様に気がつくことができませんでした。

この身近な冒険から貴重な教訓を得ることができました。「隣の芝生は青い」とよく言いますが、自分の「芝生」を新たな目で見ると、「青い」ところはかなりあります。身の回りの魅力はこのコラムに最初に紹介するには、とてもすてきな再発見となりました。



北沢の不法投棄の 解決に向けて(24)

今回も、先進地視察先の1つである、埼玉県寄居町の「埼玉県環境整備センター」の公園緑地施設と総合的資源循環型モデル施設「彩の国資源循環工場」について、説明します。

埼玉県環境整備センターでは、平成元年から埋め立てを開始し、すでに4つの区画で埋め立てを完了しています。1・2号区画は公園緑地施設として整備され、陸上競技の400mトラックやサッカーなどができる多目的広場のほか、寄居町が一望できる展望台、あずまや等が配置されています。さらに、体育館も整備され地域住民に解放されています。

また、防災調節池の周辺には水辺テラスや遊歩道が設置されているほか、公園内には桜、つつじ等の花木が植栽され、周辺の自然と調和した美しい景観を作り出しています。

敷地内には公共機関が関与する全国初めての総合的資源循環型モデル施設「彩の国資源循環工場」があります。県では、ここを拠点に「ゼロエ

ミッション」(廃棄物を徹底分別しリサイクルを促進すること)で、単純な焼却や単純埋め立てによって処分する産業廃棄物をなくすこと)の実現を目指しています。

民間企業9社が、食品残さや建設廃棄物、廃プラスチックなどの廃棄物を受け入れ、肥料や再生骨材、固形燃料などにリサイクルされるほか、ゴミ発電により電力を販売しています。

また、施設内の工場では、雨水利用と工場排水のクロージングシステム(循環利用)を採用し、水使用量と環境負荷の低減を図っています。

このように、企業等から排出される廃棄物の抑制と廃棄物を利用して新たな製品を生み出す努力が行政と民間協力のもとで行われています。



不法投棄現場周辺にかかる水質分析結果 平成19年度年間変動調査分

ダイオキシン類

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

調査項目 ダイオキシン類

採水日 平成19年6月11日

採水場所 1 周辺環境水

- (1) 投棄地直下河川
- (2) 小口川上流
- (3) 周辺人家井戸2カ所

2 投棄現場

投棄地下流側浸出水

調査結果 → 周辺への汚染拡大の兆候は認められない。

詳細については環境整備対策室(☎0287-92-1110)にお問い合わせください。

相談窓口の開設

馬頭最終処分場についての相談窓口は毎月第1水曜日に開設しています。町民の皆さまの疑問にお答えし、ご意見やご要望をお伺いしています。相談日以外でも県または町にご相談ください。

相談日時 11月7日(水)午後1時~午後6時

場所 役場本庁2階第3会議室

問い合わせ

県 馬頭処分場整備室 ☎028-623-3227

町 環境整備対策室 ☎0287-92-1110

最終処分場視察を実施します

視察先 埼玉県環境整備センター(埼玉県寄居町)エコフロンティアかさま(茨城県笠間市)その他、要望の施設

対象者 町内に住所を有する団体・グループ・個人

申し込み 環境整備対策室 ☎0287-92-1110

実施期日 申し込み団体等と調整のうえ決定します。